生涯学習とコミュニティ

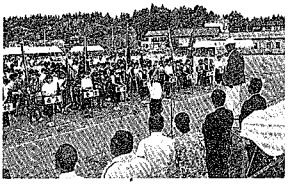
―金津地区―

金津地区は、公民館の金津分館を中心に、活動が発に行なわれており、本年度の分館行事は56、関連行事を含めると、地区全体で 135もあります。

9つすべての町内で、宿泊を伴う体験キャンプがあるほか、春山、秋山の登山、綱引き大会など、健康で活力ある地域づくりが基本になっています。

◎本年度の重点目標は
- ・生涯学習の推進
- ・リサイクル運動の推進
- ・婦人層、青年層、壮年層等への援助活動です。

◎年間行事予定表が各戸に配布され、いつ、どこで、何が計画されているかが、よくわかるようになっています。



中学生も積極参加の町内対抗運動会

春、秋に行われるハイキング

マラソン同好者の集り　金津走友会

新津の文化財 ②

小泉蒼軒画像

小泉蒼軒文庫

一七九七～一八七〇

この書付けは、安政五年（一八五八）十二月に新発田藩がだした転勤辞令にあたるもの。

○五十公野組、曾根新田名主
善之助（蒼軒）

その方、小須戸組市之瀬新田に転村を申し付ける。村にある屋敷を与える。というもの。

小泉蒼軒は、寛政九年（一七九七）父、其明の長男として、現在の見附市今町に生まれ、通称は善之助といいました。

父が長崎でオランダ人から測量術を学び、帰郷してから越後・佐渡を実測して、地図作りを生涯の実業としました。

蒼軒は生来英敏、あらゆる学問に通じていましたが、父の測量に常に同行したこともあって地理学にもっとも精通していました。しばしば佐渡・粟島にも往来して、佐渡全図を改訂しました。

外出時には、いつも測量器具とメモ帳を忘れず、書きとめてきました。地理・歴史・民政・民俗・治水・国学・数学・本草学など数百冊に及ぶ記録と測量具一式が文化財として指定されたものです。

また、交際関係も広く、滝沢馬琴・山東京伝・鈴木牧之等とも親交がありました。

市教育委員会では、今年中にこの「小泉蒼軒集」を発刊すべく準備を進めています。

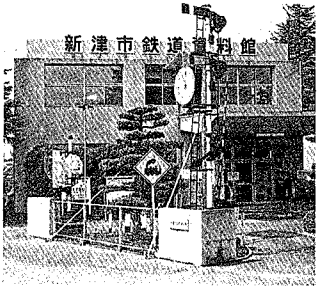
鉄道資料館だより ①

南町、JR車両所に隣接する新津市鉄道資料館は、昭和五十八年開設以来今年でちょうど十年目になります。

展示品も次第に充実し、知名度も全国的に広がってきました。県内はもとより、はるばる県外からの入館者も多く、広く親しまれております。春先は、小中学生の団体で賑わいます。

開館は九時三十分から、休館日は月曜日です（月曜が祝日の場合は火曜が休館です。）

入館料は大人二百円、小人百円です。

次号からは、主な展示品をピックアップし順次紹介していきます。

鉄道資料館
電　二四（シ）―五七〇〇（ゴナナ）